

## 輸出規制ポリシー

お買い求めいただいた商品、技術あるいはソフトウェア（以下、「本製品」という）の輸出、再輸出、移転等にあたっては、輸出国の輸出管理法令（日本からの輸出の場合「外国為替及び外国貿易法：外為法」）及び関連する国際間の輸出並の輸出並の再輸出規制等の遵守が義務付けられています。本製品をご購入頂いたお客様におかれましては、本製品の海外への輸出、再輸出、移転について輸出許可が必要か否かをお客様自身で判断され、必要に応じて輸出許可証や他の公的な認証等の取得、及び税関への届け出等を実施して下さい。当該政府からの必要な輸出許可を取得しないまま、あるいは輸出管理関係当局からの認証等を受けないままに本製品をキューバ、イラン、北朝鮮、シリアもしくはアフガニスタンへ輸出することはできませんので、その旨ご承知置き下さい。また、以下の URL で指定された制限顧客リスト掲載の顧客に対する本製品の引渡し、使用許諾、移転あるいは再輸出は法律で禁止されています。

<https://www.bis.doc.gov/index.php/policy-guidance/lists-of-parties-of-concern>  
<https://www.europecouncil.org/common-foreign-security-policy-cf-sp-an>  
[https://www.neti.gov/jp/policy/ano/polaw/document/tutatu/t10kasei/130830kasei\\_userlist\\_kohyo.pdf](https://www.neti.gov/jp/policy/ano/polaw/document/tutatu/t10kasei/130830kasei_userlist_kohyo.pdf)  
 また、大量破壊兵器として規制されているミサイル、無人航空機、核爆発能あるいは原子力推進プロペラ、生物・化学兵器等の製造・開発・使用、もしくは禁止されているその他のいかなる最終用途のために本製品を使用することは法律で禁じられています。詳細については次の URL を御参照下さい。  
<https://www.bis.doc.gov/index.php/regulations#fear>

## 安全にお使いいただくために

本書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々の危害や財産の損害を未然に防ぐために、守っていただきたい事項が表示されています。その表示の意味は次のようになっていきます。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 表示の意味

<b>▲ 警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いを行いますと、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
<b>▲ 注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いを行いますと、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみが発生する恐れがあります。

- △ この図記号は注意（警告を含む）を促す事項であることを示しています。この図の中や近くに、具体的な注意内容が書かれています。
- この図記号は禁止事項があることを示しています。この図の中や近くに、具体的な禁止内容が書かれています。
- この図記号は必ず行っていないといけない事項があることを示しています。この図の中や近くに、具体的な指示内容が書かれています。

## 全体について

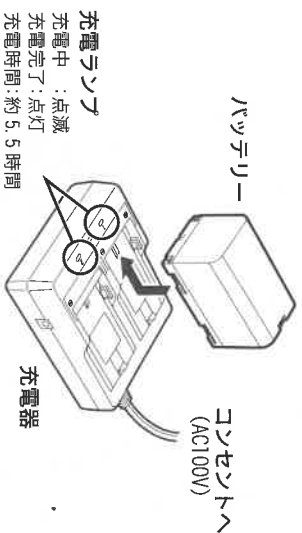
- ▲ 警告**
  - 炭酸や炭酸の湧く場所、引火物の近くで使わないでください。爆発の恐れがあります。
  - 分解禁止
  - 望遠鏡で太陽を絶対に見ないでください。失明の原因になります。
  - 禁止
  - 望遠鏡で反射プリズムなど反対物からの太陽光線を見ないでください。失明の原因になります。
  - 禁止
  - 太陽観測の際には専用の太陽フィルターをご使用ください。太陽観測の際、望遠鏡で直接太陽を見ると、失明の原因になります。
  - 指示
  - 格納ケースに本体を入れて持ち運ぶ際には、必ず格納ケースのロックをすべて掛けてください。本体が落下してケガをする恐れがあります。
- ▲ 注意**
  - 格納ケースを踏み台にしないでください。スベリやすくて不安定です。転げ落ちてケガをする恐れがあります。
  - 格納ケース本体やベルトが濡れていたら機器を収納しないでください。ケースや機器が落下して、ケガをする恐れがあります。
  - 垂珠を振り回したり、投げたりしないでください。人に当たったりケガをする恐れがあります。

## バッテリーの準備

## バッテリーを充電する

工場出荷時にはバッテリー（BDC70）は充電されていません。充電してからお使いください。

1. 電源ケーブルを充電器に取り付け、プラグをコンセントに差し込みます。
2. バッテリーの溝と充電器のガイドを合わせ、矢印方向に押しつけて装着します。充電ランプが点滅し、充電を開始します。



3. 充電が完了すると、充電ランプが点灯します。

- ・バッテリーは、必ず以下の温度範囲内で充電してください。  
充電温度範囲：0～40℃

## 標準構成品

購入の際は、下記の品がすべて揃っているかご確認ください。



- ・本機をお買い求めいただいた国や地域に適応した電源ケーブルが付属しています。
- ・レーザー赤心装置搭載機種には調整用の六角棒スパン (1.5mm) 1本が付属します。
- ・標準構成品はバックアップ式の機種には調整ピン1本が付属します。
- ・取扱説明書はバックアップの画面で見るとマニュアルとして、CD-ROM内にはPDFデータが入っています。製品ご購入後、早めにお手持ちのパソコン等にバックアップすることをお勧めします。閲覧には、Adobe Acrobat Readerが必要です。Adobe Acrobat Readerは、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。
- ・本機で認識できない一部のUSBメモリーに対して、SDメモリーを行うことで認識可能になるものがありますが、動作保証をするものではありません。

- ① ハンドルは本体に強裂に張り付けてください。ゆるんでいるとハンドルを持ったときに本体が落下して、ケガをする恐れがあります。
- ② 標準台の着脱ピンを確実に締めてください。ゆるんでいるとハンドルを持ったときに標準台が落下して、ケガをする恐れがあります。

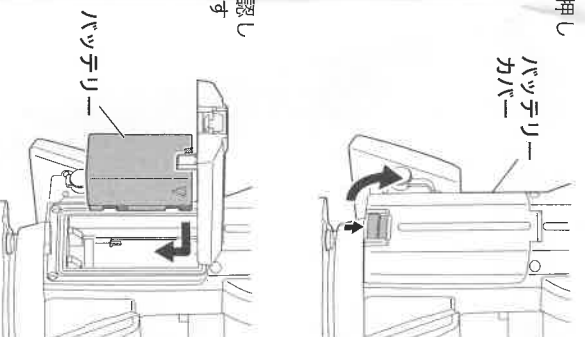
## 電源について

- ▲ 警告**
  - バッテリーや充電器は分解・改造をしたり、強い衝撃・強い振動を与えたりしないでください。発火・火災・感電・ヤケトの恐れがあります。
  - 端子をショートさせないでください。大電流による発熱や発火の恐れがあります。
  - 充電器に衣服などを掛けて充電しないでください。発火を誘発し、火災の恐れがあります。
  - 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
  - 指定されているバッテリー以外使わないでください。火災・破裂・発熱の原因となります。
  - 指定された電源コード・プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。火災・感電の恐れがあります。
  - 指定されている電源コード以外は使わないでください。火災の原因になります。
  - ① バッテリーの充電には、専用の充電器を使ってください。他の充電器を使うと、電圧やカーの特性が異なることがあるため、発火による火災・ヤケトの恐れがあります。
  - ② バッテリーや充電器などを火中に投げ込んだり、加熱したりしないでください。破裂してケガをする恐れがあります。
  - ③ バッテリーを保管する場合は、ショート防止のために、端子に絶縁テープを貼るなどの対策をしてください。そのままの状態では保管すると、ショートによる火災やヤケトの恐れがあります。
  - ④ バッテリーや充電器の端子が水にぬれた状態で使わないでください。接触不良、ショートによる火災・ヤケトの恐れがあります。
  - ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- ▲ 注意**
  - バッテリーからぬれた液に触らないでください。薬害によるヤケト・カチシの恐れがあります。

## バッテリーを装着する

充電が完了したバッテリーを本体に装着します。

1. バッテリーカバーのボタンを押しながらカバーを開きます
2. バッテリーの端子の向きを確認して、本体に押し付けて装着します



- ・バッテリーを斜めに挿し込むと本体やバッテリーの端子を破損する恐れがあります。
- ・カバーは「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

## 三脚について

## ▲ 注意

- ① 機械を三脚に止めるときは、定心かんを確実に締めてください。不確実だと機械が落下して、ケガをする恐れがあります。
- ② 機械をのせた三脚は、蝶ねじを確実に締めてください。不確実だと三脚が傾け、ケガをする恐れがあります。
- ③ 三脚の石突きを人に向けて持ち運ばないでください。人に当たり、ケガをする恐れがあります。
- ④ 三脚を立てるときは、脚もとに人の手・足がないことを確かめてください。手・足をかき刺して、ケガをする恐れがあります。
- ⑤ 持ち運ぶの際は、蝶ねじを確実に締めてください。ゆるんでいると脚が伸び、ケガをする恐れがあります。

## Bluetooth 無線技術 / 無線 LAN について

## ▲ 警告

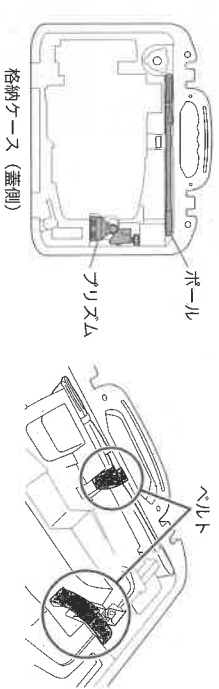
- 病院内で使用しないでください。医療機器の誤動作の原因になる恐れがあります。
- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用してください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。
- 飛行機の中で使用しないでください。飛行機の計器などの誤動作の原因になる恐れがあります。
- 自動ドア、火災感知器等の自動制御機器の近くで使用しないでください。電波が自動制御機器の動作に影響を与え、誤動作による事故の原因になる恐れがあります。

## レーザーについて

取扱説明書 (PDF) の「レーザー製品を安全にお使いいただくために」をお読みください。

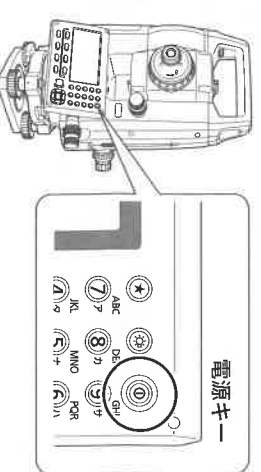
## ピンホールプリズムの格納について (ピンホールプリズムキット付属モジュールのみ)

ピンホールプリズムを格納ケースに入れて保管・移動するときは、所定の場所に入れてベルトでしっかりと固定してください。



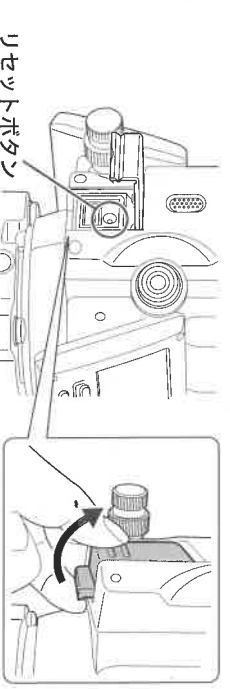
## 電源の ON/OFF

操作パネルの電源キーを長押し (約1秒) して電源を ON にします。



電源を OFF にするときは、電源キーを長押し (1秒) します。

ソフトウェア上の障害が発生した場合、リセットボタンを押すと強制的に再起動させることができます。リセットボタンは付属の六角レンチ (1.3mm または 1.5mm) やピンなど先の細いもので押してください。



- ・針などの先の尖ったものは使用しないでください。故障の原因となります。
- ・リセットボタンを押すと、ファイルが壊れることがありますのでご注意ください。

